

若者世代が住みたい 田舎部門



点数の出し方

若者世代が住みたい田舎アンケート34項目の点数
+移住者人口の割合(10代・20代・30代の単身の移住者数
÷人口×1000)+(総合アンケート点数×0.1)

			掲載ページ
1位	鳥取県 鳥取市	とっとりし	34.68点 P48
2位	栃木県 栃木市	とちぎし	33.85点 P54
3位	長野県 飯田市	いいたし	31.50点 P52
4位	宮崎県 延岡市	のべおかし	31.33点 P51
5位	愛媛県 西条市	さいじょうし	31.22点 縦じ込み付録P94
6位	福岡県 北九州市	きたきゅうしゅうし	30.60点 P56・縦じ込み付録P95
7位	静岡県 浜松市	はままつし	30.50点 P51
8位	山形県 酒田市	さかたし	30.32点 縦じ込み付録P83
9位	山形県 鶴岡市	つるおかし	30.22点 P51
10位	山口県 山口市	やまぐちし	30.22点
11位	山口県 下関市	しものせきし	30.11点 P51
12位	静岡県 静岡市	しずおかし	30.00点 縦じ込み付録P85
13位	岡山県 津山市	つやまし	29.62点
14位	長野県 長野市	ながのし	29.50点
15位	愛知県 豊田市	とよたし	29.30点 縦じ込み付録P91
16位	静岡県 沼津市	ぬまづし	28.91点 縦じ込み付録P95
17位	愛媛県 松山市	まつやまし	28.75点 縦じ込み付録P87
18位	北海道 旭川市	あさひかわし	28.70点 縦じ込み付録P82
19位	秋田県 秋田市	あきたし	27.53点 縦じ込み付録P83
20位	栃木県 小山市	おやまし	27.34点

子育て世代が住みたい 田舎部門



点数の出し方

子育て世代が住みたい田舎アンケート64項目の点数
+移住者人口の割合(子育て世代の移住者数÷人口×1000)
+(総合アンケート点数×0.1)

			掲載ページ
1位	栃木県 栃木市	とちぎし	65.65点 P54
2位	鳥取県 鳥取市	とっとりし	62.47点 P48
3位	宮崎県 延岡市	のべおかし	58.66点 P51
4位	山形県 鶴岡市	つるおかし	58.22点 P51
5位	福岡県 北九州市	きたきゅうしゅうし	57.69点 P56・縦じ込み付録P95
6位	愛知県 豊田市	とよたし	57.61点 縦じ込み付録P91
7位	岡山県 津山市	つやまし	56.55点
8位	山形県 酒田市	さかたし	56.30点 縦じ込み付録P83
9位	栃木県 小山市	おやまし	55.80点
10位	長野県 長野市	ながのし	55.50点
11位	栃木県 宇都宮市	うつのみやし	55.21点
12位	山口県 岩国市	いわくにし	54.90点
13位	長崎県 佐世保市	させぼし	54.71点
14位	長野県 飯田市	いいたし	54.60点 P52
15位	愛媛県 西条市	さいじょうし	54.35点 縦じ込み付録P94
16位	山口県 下関市	しものせきし	54.23点 P51
17位	長崎県 長崎市	ながさきし	54.03点
18位	静岡県 静岡市	しずおかし	54.00点 縦じ込み付録P85
19位	秋田県 秋田市	あきたし	53.76点 縦じ込み付録P83
20位	群馬県 桐生市	きりゅうし	53.64点

第7回



「住みたい田舎」

ベストランキング!

大きなまち 5部門 ランキング発表!

回答自治体が96あった

「大きなまち(人口10万人以上)」の
5部門のランキングを発表します。

※順位は点数順です。ここでは、小数第3位以下を
切り捨てて表示しています。

総合部門



点数の出し方

総合アンケート②~⑩(全89項目)の点数
+移住者人口の割合(①移住者の合計人数÷人口×1000)

			掲載ページ
1位	鳥取県 鳥取市	とっとりし	82.26点 P48
2位	栃木県 栃木市	とちぎし	80.27点 P54
3位	静岡県 静岡市	しずおかし	80.02点 縦じ込み付録P85
4位	福岡県 北九州市	きたきゅうしゅうし	76.68点 P56・縦じ込み付録P95
5位	秋田県 秋田市	あきたし	75.35点 縦じ込み付録P83
6位	長野県 飯田市	いいたし	75.18点 P52
7位	長野県 長野市	ながのし	75.06点
8位	宮崎県 延岡市	のべおかし	73.50点 P51
9位	愛知県 豊田市	とよたし	73.10点 縦じ込み付録P91
10位	山形県 酒田市	さかたし	73.03点 縦じ込み付録P83
11位	岡山県 津山市	つやまし	73.00点
12位	愛媛県 西条市	さいじょうし	72.21点 縦じ込み付録P94
13位	山形県 鶴岡市	つるおかし	72.18点 P51
14位	山口県 山口市	やまぐちし	72.10点
15位	山口県 宇部市	うべし	71.48点
16位	山口県 下関市	しものせきし	71.16点 P51
17位	大分県 大分市	おおいだし	71.02点
18位	北海道 旭川市	あさひかわし	67.04点 縦じ込み付録P82
19位	愛媛県 松山市	まつやまし	66.61点 縦じ込み付録P87
20位	島根県 出雲市	いずもし	66.39点
21位	長崎県 佐世保市	させぼし	65.40点
22位	静岡県 藤枝市	ふじえだし	65.38点
23位	栃木県 小山市	おやまし	65.07点
24位	鹿児島県 鹿屋市	かのやし	65.07点
25位	静岡県 浜松市	はままつし	65.03点 P51
26位	鹿児島県 霧島市	きりしまし	64.57点
27位	宮崎県 都城市	みやこのじょうし	63.37点
28位	新潟県 新潟市	にいがたし	63.01点
29位	長野県 上田市	うえだし	62.22点
30位	新潟県 上越市	じょうえつし	62.12点

自然の恵み部門



点数の出し方

自然の恵みに関連したアンケート37項目の点数
+移住者人口の割合(移住者の合計人数÷人口×100)

順位	県	市	特徴	点数	掲載ページ
1位	鳥取県	鳥取市	とっとりし	35.12点	P48
2位	長野県	飯田市	いいだし	32.01点	P52
3位	静岡県	浜松市	はままつし	31.00点	P51
4位	宮崎県	延岡市	のべおかし	30.05点	P51
5位	愛媛県	西条市	さいじょうし	30.02点	縦じ込み付録P94
6位	栃木県	栃木市	とちぎし	28.22点	P54
7位	山形県	鶴岡市	つるおかし	28.01点	P51
8位	山口県	下関市	しものせきし	28.01点	P51
9位	愛知県	豊田市	とよたし	28.01点	縦じ込み付録P91
10位	鹿児島県	鹿屋市	かのやし	28.00点	
11位	長野県	松本市	まつもとし	28.00点	
12位	長野県	長野市	ながのし	28.00点	
13位	山形県	酒田市	さかたし	28.00点	縦じ込み付録P83
14位	大分県	大分市	おおいたし	28.00点	
15位	福岡県	北九州市	きたきゅうしゅうし	27.06点	P56・縦じ込み付録P95
16位	山口県	宇部市	うべし	27.04点	
17位	新潟県	上越市	じょうえつし	27.01点	
18位	山口県	山口市	やまぐちし	27.01点	
19位	北海道	旭川市	あさひかわし	27.00点	縦じ込み付録P82
20位	静岡県	静岡市	しずおかし	27.00点	縦じ込み付録P85

シニア世代が住みたい田舎部門



点数の出し方

シニア世代が住みたい田舎アンケート29項目の点数
+移住者人口の割合(シニア世代の移住者数÷人口×1000)
+(総合アンケート点数×0.1)

順位	県	市	特徴	点数	掲載ページ
1位	福岡県	北九州市	きたきゅうしゅうし	35.66点	P56・縦じ込み付録P95
2位	山形県	酒田市	さかたし	35.30点	縦じ込み付録P83
3位	栃木県	栃木市	とちぎし	35.07点	P54
4位	秋田県	秋田市	あきたし	34.54点	縦じ込み付録P83
5位	愛知県	豊田市	とよたし	34.35点	縦じ込み付録P91
6位	鳥取県	鳥取市	とっとりし	34.23点	P48
7位	山口県	山口市	やまぐちし	34.22点	
8位	宮崎県	延岡市	のべおかし	33.40点	P51
9位	静岡県	静岡市	しずおかし	33.00点	縦じ込み付録P85
10位	新潟県	新潟市	にいがたし	32.30点	
11位	山形県	鶴岡市	つるおかし	32.29点	P51
12位	岡山県	津山市	つやまし	32.27点	
13位	愛媛県	西条市	さいじょうし	32.21点	縦じ込み付録P94
14位	山形県	山形市	やまがたし	32.21点	
15位	高知県	高知市	こうちし	32.20点	縦じ込み付録P95
16位	山口県	宇部市	うべし	32.19点	
17位	愛媛県	新居浜市	にいほまし	32.17点	縦じ込み付録P87
18位	愛媛県	松山市	まつやまし	31.68点	縦じ込み付録P87
19位	鹿児島県	鹿屋市	かのやし	31.51点	
20位	山口県	下関市	しものせきし	31.11点	P51

編集部セレクトの「住みたい田舎」!

充実した都市機能と豊かな自然
群雄割拠の大分県から
登場した大型新人!

本ランキングでは毎回、複数の自治体が上位にランクインしている大分県。今回は県庁所在地の大分市が、大きくランクアップした。「大きなまち」の「総合部門」で前回67位から17位へ躍進し、新設の「自然の恵み」部門でも14位にランクインしたのだ。大分市では2018年4月に「おおいた魅力発信局」が発足し、移住者総合相談窓口を設置。今回のランクアップはその初年度の成果といえる。

中国地方出身で、以前から大分県を頻りに訪れている編集部Fさんに、大分市の印象を聞いてみた。

「大分市、いいですよ。駅前ビルの屋上の露天温泉に入ると、もう極楽です。肉も魚もおいしいし、海岸線をドライブするのも楽しいし」

Fさんによると、大分市は東九州の経済・文化の中心で、近年駅周辺が再開発されて都市機能がさらに充実。コンパクトに何でも揃い、おしゃれなカフェや映画館もあり、賑わっているらしい。美術館や図書館といった文化施設も充実。文

武両道の公立進学校もある。

大分市は、「おんせん県・大分」のなかでも源泉総数・湧出量ともに4位の温泉都市で、市内に立ち寄り湯が36カ所もある。別府、由布院も余裕の日帰り圏だ。地域の半分は森林で、緑が豊か。市内の農地から届く農産物が直販所に並び、別府湾や佐賀関で揚がる魚も絶品だ。

幅広い世代が快適に暮らせる都市機能と、自然の恵みを存分に享受できる大分市。今後、ランキング上位の常連になるかもしれない注目のまちだ。



↑都市機能が集約された大分市の市街地を望む。海・山・川・温泉の自然にも恵まれている。

大きなまち

総合部門
第**17**位

自然の恵み部門
第**14**位

大分県
大分市
おおいたし



面積 502.38km²
人口 47万9067人
(2018年11月末日現在)
平均気温 17.6℃(2017年)

アクセス 電車で、小倉駅から大分駅まで日豊本線特急で約1時間20分。車で、大分空港からバスで約1時間。

◎おおいた魅力発信局
☎097-578-7749

大きなまち

第7回
「住みたい田舎」
ベストランキング!

総合部門
第1位



若者世代が
住みたい田舎
第1位



自然の恵み
部門
第1位



鳥取県
鳥取市

アンケート結果

総合部門 1位
総合81点+
(移住者数÷人口×1000) = 82.26点

若者部門 1位
若者26点+ (若者移住者数÷人口×
1000) + (総合81点×0.1) = 34.68点

子育て部門 2位

シニア部門 6位

自然部門 1位

自然35点+
(移住者数÷人口×100) = 35.12点



面積 765.3km²
人口 18万8369人
(2018年11月30日現在)
平均気温 14.9℃

アクセス 大阪から鳥取駅まで特急で
約2時間30分。車の場合は鳥取ICま
で約2時間30分。羽田空港から市内の
鳥取砂丘コナン空港へは1日5便運航
で約1時間10分。

☎地域振興課 ☎0857-20-3184
<http://www.city.tottori.lg.jp>



上空から見るとハートの形に見える湖
山池(こやまいけ)の青島。

多様なライフスタイルに合わせて 地域が選べ、若い世代への支援も充実

利便性と豊かな自然環境の双方が揃っている鳥取市。注目は、移住前の相談から移住後のサポートまで、幅広い世代を支援する体制が整っていることだ。2018年度は、若者や子育て世代の受け入れ体制を拡充。2年ぶり2度目の総合第1位に輝いた。

文・田中泰子 写真／菅野雄一・山田真実 写真提供／鳥取県鳥取市

自分に合った暮らしが
見つかる街

北は日本海に面し、世界ジオパークに認定された多様な自然と風土や鳥取砂丘があり、南は里山が広がり、また地方都市の利便性を備えた鳥取市。そのため、海暮らしも里山暮らしも街暮らしも楽しめる。移住希望者のライフスタイルに合わせた地域を選べることはもちろんだが、鳥取市が移住先として人気なのは幅広い世代を支援する施策が充実していることにある。

鳥取市地域振興課移住定住促進係の河本秀樹さんによると、18年度の移住者の受け入れは199組263人(11月末現在)。「30代までの移住者が約7割。Uターンのほうが多く、皆さんが、ご自分の暮らしに合った地域を選ばれています」

移住相談窓口は、市役所以外にも駅前「移住・交流情報センター(土・日・祝日も相談可能)」があり、東京と大阪にも相談員が常駐している。18年度は若い世代を対象に、家賃補助やUターンで就職活動をする際



公開天文台「さじアストロパーク」。プラネタリウムや望遠鏡付きの宿泊施設もある。



鳥取港海鮮産物市場「かろいち」には新鮮な食材が並ぶ。食堂もオススメ。



市内の保育園は芝生化を推進。子どもたちは園庭を裸足で走り回れる(撮影:浅田政志)。

県内随一の観光スポット鳥取砂丘。ポケモンGOのイベントでも有名になった。





↑福田さんファミリー。自宅の近くにも、子どもたちが遊べる場所がたくさんある。

移住者レポート

ひろき 福田 既己さん ● 48歳
ゆみ 祐弓さん ● 39歳
なつき 尚輝くん ● 9歳
はるか 晴香ちゃん ● 5歳

自然豊かなところで子育てがしたいと2016年1月に東京都から家族で鳥取市へ。祐弓さんはあん摩マッサージ指圧師として自宅働く。既己さんは介護の仕事に就いた。

利用した支援制度

- 空き家情報
- UJIターン者住宅支援事業補助金
- 無料職業紹介所



↑森のようちえん「風りんりん」に通う晴香ちゃん。海や山、砂丘など、自然がフィールドだ。

お試し住宅

市街地のアパートや郊外の一軒家など、移住を検討している方向けのお試し住宅が8棟用意されている。6棟は最長1カ月で5日間7500円〜。



↑鹿野町(しかのちょう)のお試し住宅2棟は温泉付き(3カ月〜最長1年間、1カ月5万4000円)。



↑カーナビ付きの電気自動車を無料で貸し出しているお試し住宅もある。



↑鳥取駅から徒歩5分の移住相談窓口「鳥取市移住・交流情報ガーデン」は、移住者と市民との交流の場でもあり、定期的にイベントを開催。

鳥取市移住・交流情報ガーデン
①鳥取県鳥取市永楽温泉町109番地
☎0857-30-6631
(月曜・年末年始休み)



↑祐弓さんは、自宅の一室を治療院として開業。週に2回、温泉施設への出張も行っている。



↑空き家情報を活用して購入した家。「大きな改修をせず、すぐに住める家が見つかりました」(祐弓さん)。

「自然が育む子どもたちのカストレスからも解放」

東京都から移住した福田さん家族。「ラジオで「森のようちえん」を知って、梓にはまらずに自然のなかで子どもの力を育むというのが新鮮で、こういうところで育てたいなと思いました」と祐弓さん。

自宅開業をしたかった祐弓さんは、市の空き家情報を利用して家を購入。仕事とプライベートを分けられる広い家に満足している。近所の人も優しく、地域で歓迎会を開いてくれるなど、すぐに溶け込むことができた。

晴香ちゃんは、市内の「森のようちえん 風りんりん」へ通

の交通費補助を新設したそうで、そういった施策が「若者世代が住みたい出舎」で1位を後押ししたのかもしれない。

自然が育む子どもたちのカストレスからも解放

東京都から移住した福田さん家族。「ラジオで「森のようちえん」を知って、梓にはまらずに自然のなかで子どもの力を育むというのが新鮮で、こういうところで育てたいなと思いました」と祐弓さん。

「嫌いだりジャンプしても、ご近所に気兼ねなく安心して遊べるので、子どもが自由に自分を表現できるんです」と祐弓さん。

生活環境が変わったことで、2人の子どものアトピー性皮膚



↑先月完成した鳥取県立中央病院。市内には4つの総合病院があり安心。



↑市内には温泉地がいくつもある。中心市街地にある銭湯も温泉だ。



↑鳥取駅周辺なら街暮らしが楽しめる。鉄道やバスもあり、駅から図書館や商店街も徒歩圏内だ。

生活環境が変わったことで、2人の子どものアトピー性皮膚

炎の症状も落ち着き、穏やかに過ごせるようになり、祐弓さん自身のストレスも減ったそうだ。

同世代から刺激を受け若者が活躍できる地域

大学3年生のとき、社会連携

移住者レポート

ふかさわ
深沢あゆみさん・23歳

埼玉県出身。明治大学卒業後、鳥取市に本社があるIT企業[LASSIC(ラシック)]に就職。住まいでもある「もちがせ週末住人の家」ではスタッフとしてお客さんを迎える。
 ▶共有スペースのリビングでくつろぐ深沢さん(左)と、週末住人の家を運営する岩田直樹さん(右)。

利用した支援制度

すごい!鳥取市ワーホリ!



事業の環境で鳥取県を初めて訪れたという深沢さん。そのときに、市内の用瀬町で空き家を活用した民泊施設「もちがせ週末住人の家」を経営する地元の大學生2人に会い、刺激を受けた。
 「大學生が起業していることに驚きました。町をどうしたらいいか、自分たちの世代がどう活躍していくかを一緒に考えて、この地域で生きていきたいな」ともちがせ週末住人の家のイベ

深澤義彦
鳥取市長より
受賞メッセージ



市一丸となって魅力発信や移住支援に取り組んでまいります

このたび、3部門で1位の評価をいただいたことは大変光栄であり、うれしく思っております。2018年夏には、東京の吉祥寺駅に移住を呼びかけるポスターを貼ったことがマスコミでも取り上げられるなど、これまで本市一丸となって魅力発信に取り組んできた成果と感じています。本市は雄大な鳥取砂丘を有し、自然が豊かで、適度に都市機能が整っており暮らしやすいまちです。ぜひ一度、お越しいただければ幸いです。



↑学生時代には「すごい!鳥取市ワーホリ!」にも参加。鳥取砂丘でヨガ体験。



↑平成の名水百選に選ばれた「布勢の清水」。地元住民による保全活動も行われている(撮影:浅田政志)。

ントに地域の人が参加するなど、若者の活動を応援してくれる地域住民が多い。
 「地域のお祭りに誘ってくださったりと、人と人との交流が温かい地域です。それが楽しく、自分のモチベーションにもなります」
 深沢さんは、鳥取市に本社を置くIT企業に就職。休日は海や星を楽しんだり、イベントに参加したりと充実した生活を満喫している。

鳥取市のココがすごい!

相談員の数が多い

市が独自に設置している「定住促進・Uターン相談支援窓口」など、東京・大阪を含め計8人体制で移住相談に対応。1日1組限定でオーダーメイド方式の体験ツアーもできる。市単独の移住相談会も開催している。

移住後の支援も手厚い

鳥取駅前「鳥取市移住・交流情報ガーデン」は、定住者の交流拠点で、情報交換や移住後の相談も可能。約60人の会員がいる「鳥取ふるさとUI(友愛)会」など民間団体のネットワークがあるのも心強い。

四季の変化が明確で旬の食材が楽しめる

冬は雪が降る鳥取市。松葉がにはじめ、旬の海産物や野菜が手軽に手に入る。夏は海水浴が楽しみ、自然の景色や食材から季節が感じられる。名所の鳥取砂丘は季節や時間帯によってさまざまな顔を見せてくれる。



↑鳥取駅からバスで10分の久松山(ぎゅうしょうざん)。標高263mで、山頂には鳥取城跡がある。

↑神話「因幡の白うさぎ」の舞台とされる白兎(はくと)海岸。夏は海水浴客やサーファーでにぎわう。

↑巨大な砂像を展示している「鳥取砂丘 砂の美術館」で、市長と移住定住支援を担当する皆さん。

